

1. 件名：「日本原子力研究開発機構の大洗研究所ナトリウム分析室（使用施設）における火災事象について」に関する面談

2. 日時：令和2年11月12日（木）16時15分～17時00分

3. 場所：

(1) 原子力規制庁2階会議室

(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

東京事務所、大洗研究所

※本面談は、テレビ会議にて実施

4. 出席者

(1) 原子力規制庁

原子力規制部 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官、伊藤企画調査官、木村主任監視指導官、鈴木管理官補佐

原子力規制部 原子力規制企画課 火災対策室

守谷室長、北嶋室長補佐

(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

大洗研究所 高速実験炉部 高速炉技術課 課長 他3名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、9月10日に大洗研究所ナトリウム分析室において発生した分電盤火災について、原因の調査結果及び対応方針について、資料に基づき以下の説明があった。

[原因]

- ・火元となる電磁接触器の分解調査により、内部にトラッキングの痕跡が確認された。電磁接触器の長期間の使用により、絶縁抵抗の劣化が進む中で、電源供給ラインが切り替わったタイミングで、電源端子と電源端子固定ネジ間に電位差が生じ、トラッキングを原因とする漏電による火災が発生。当該電磁接触器はメーカーによる交換推奨時期の10年を超えて使用開始から約34年経過しており、電気工作物の点検（年1回）においても電源端子間を絶縁抵抗測定対象としなかったのが原因。

[今後の対応方針]

- ・当該電磁接触器（同型、同導入時期のものを含む）の使用をやめ、その他の電気機器については、メーカー推奨時期を超える前に交換することを基本とし、超えて使用するときは絶縁抵抗測定を行う。
 - ・まずは当該施設、次に大洗研究所、他の拠点へと水平展開を行う。
- (2) 原子力規制庁から、水平展開の状況等について適宜報告戴きたい旨を伝え、JAEAからは了解したとの回答を得た。

6. JAEAからの配付資料

- ・「大洗研究所ナトリウム分析室（管理区域）の火災（発生日：2020年9月10日）に係る原因調査の現状について」

以上